

新任医師ご紹介



外科 専攻医
仲須 千春先生

患者さんと向き合い、真摯に診療に取り組みたいです。よろしくお祈りします。

AED オートショックの新機種に更新

12月27日、当院はAED（自動体外式除細動器）の更新を行いました。

このたび導入した新機種は、音声ガイドやディスプレイアニメーションの指示に従い、患者に電極パッドを装着すると心電図の解析が始まり、除細動が必要な場合は自動で電気ショックが行われる「オートショック機能」が搭載されています。

医療スタッフが多い基幹病院でのオートショックAED採用はまだ少なく、徳島県内の公立病院では当院が初の導入となりました。

操作者の負担軽減は、より迅速な救急蘇生につながると期待されています。（臨床工学室 豊田 英治）



今回更新されたAED



1階総合受付横に設置の1台

研修医日記

初期臨床研修医 松本 真奈 松井 栞

初期臨床研修医1年目の松本 真奈と申します。徳島県出身で、文理中学校、高等学校に通っていました。

中高時代を思い返すと、体育の授業時、女子はまほバレーとバスケのみ（男子はサッカーとソフトボール）、庭に滝がある、変な校則があるなど変わったところが多い学校でした。しかし、個性的で楽しい授業をしてくださる先生方やおっとりした同級生に囲まれ、平和で楽しい学生生活でもありました。

卒業後は名古屋大学に進学、室内合奏団に所属し、フルートを演奏していました。大学から始めた楽器なので試行錯誤しつつ練習を続けていましたが、部活の引退とコロナ禍による音楽教室の閉鎖が重なり、上手くなる前にあまり演奏しなくなってしまいました。いつかまた、音楽教室に通って勉強し直したいと思っています。

徳島市民病院で働き出して、早いもので9ヶ月が過ぎました。まだまだ分からないことが多く、先生方やコメディカルの皆さんに助けていただければ毎日の毎日です。一日でも早く業務を覚えて貢献できるように日々精進していきたいと思っています。ご迷惑をかけてしまうことも多々あると思いますが、どうかご指導のほど宜しくお願いします。



今年の4月からお世話になっております、研修医1年目の松井 栞と申します。初期研修も9ヶ月目になりました。

最初は右も左も分からず、慣れないカルテ操作や造影室でのルート確保、声のかけ方など多くのスタッフの方々にご迷惑をおかけしたと思います。ある程度流れが掴めてきた現在も皆様にたくさん助けていただきながら、毎日楽しく研修を続けております。今年は同期も5人いるため、お互いに切磋琢磨しながら頑張っています。

せっかくいただいたこの機会に、少し自分について紹介させていただこうと思います。私は生まれも育ちも徳島で、徳島市立高校、徳島大学の出身です。地域枠のため、これからは徳島で働く予定です。幼い頃から犬を飼っており、現在家にはゴールデンレトリバーとラブラドルレトリバーがいます。仕事帰りには、よくペットショップに立ち寄りおやつをたくさん買ってしまいますので、2匹とも33kgと大きく育ちました。

趣味はゴルフで、大学時代に部活で始めました。一番好きなクラブは1w、1番苦手なクラブは5wです。ベストスコアは87とまだまだですが、これからもスコア更新に向けて精進したいと思っています。

2年間の研修生活、これからもやる気と元気はいっぱいに、積極的に頑張って参ります。ご迷惑をおかけする事も多々あると思いますが、是非とも宜しくお願いいたします。



徳島市民病院だより

徳島市民病院の理念
「思いやり・信頼・安心」

R05/01
33号

〒770-0812 徳島市北常三島町2丁目34番地 徳島市民病院広報管理室 TEL (088) 622-5121 (代表)

新年のご挨拶 — 令和5年 コロナ禍の先を見据えて —

明けましておめでとうございます。私が徳島市民病院事業管理者に就任してからの3年間は、新型コロナウイルス感染症の対応に明け暮れ、市民病院の経営改善は後回しにせざるを得ない状況が続いています。



病院事業管理者
安井 夏生

公立病院にとって、新型コロナウイルス感染症の患者受け入れは重要な責務です。当院では11階の緩和ケア病棟を感染症病棟に改造し、他病院に先駆けてコロナ患者の受け入れを開始しました。それに伴い5階の回復期リハビリ病棟を休床して、マンパワーの確保にも努めてきました。当初は応急処置的な対応のつもりでしたが、まだ当分は現体制を続行せざるを得ない状況にあるかと思っています。コロナが終息すれば急性期病院としての新たな改革が必要でしょう。

当院では、院内クラスターの被害は最小限におさえることができたと思います。三宅院長のリーダーシップの下に、職員全員が力を合わせて迅速な対応をしていただいた結果と考えます。マスク、手洗いの励行など基本的な予防策はもちろん、変異株に対応したワクチン接種も怠ることのないように心がける必要があります。「予防に勝る治療なし」です。

第8次医療計画では従来の5疾病5事業に「新興感染症に対する医療」が6番目の事業として加わります。また「医師の働き方改革」や「地域医療構想」など公立病院が取り組むべき課題が山積しています。徳島市民病院が急性期病院として生き残るには職員全員が協力して経営改善に取り組む必要があります。目の前の患者さんを良くすることが何より大切ですが、健全な経営への取り組みにもご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。昨年に続き三が日はほかほか陽気で、良いお正月をお迎えになられたことと思います。早いもので令和になって4回目、院長職を拝命して7回目の新年を迎えました。



市民病院長
三宅 秀則

コロナは収束までにまだ時間がかかりそうですが、ウィズ（アフター）コロナの世界はすぐそこにまで迫っており、医療を取り巻く環境はこの1年で大きく変化することが予想されます。パンデミックのために進捗が遅れていた地域医療構想もすでに動き出し、さらに医師に対する働き方改革関連法が来年4月に施行されます。法律を遵守したうえで救急医療、周産期医療を始めとする徳島の医療を守っていくことは当院の喫緊の課題であり使命と考えております。

そのためには、人材が最も大切です。嬉しいことに来年度は初期臨床研修医定員7名がフルマッチしました。将来の徳島の医療を担っていく医師になるよう大事に育てていきたいと思っています。

さて、激変する医療環境を見据え、本年は「市民病院としてのアイデンティティを失わず、多様性を受け入れ環境変化にしっかりとついていく」ことが最も大切です。情報を正確に得て、変化に速やかに対応しなければ生き残っていきません。その上で基盤としての急性期医療、地域医療、災害医療の内容をさらに充実させ、地域住民の皆さまに頼りにされ、心より「ここに在って欲しい、在って良かったと思われる病院」を目指して、全職員が一丸となって頑張りたいと思います。本年もご指導、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

災害訓練を終えて

%% %-

- S



&

&SS - S

HHH

L

7G75 HHH

8A5H

8A5H

第60回 全国自治体病院学会

%% %S %%



%'+_a

&

&



質の高いEOLケアに向けて

9@B97!>

]b

%S &

%%) &

K YV

f9C@

L

9C@

%

fl

L

9C@

&

K YV

9C@

磁気共鳴専門技術者に認定

始業前清掃活動

AF= AU[bYf]V FYgcbUbVY =a U]]b[

% SS

(

AF=

AF=

%&)

(S

' AF=

AF=

%

徳島大学医学科より実習生受け入れ

% %S & ' & %' ' %S (

%*

%

